2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	解剖学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室
担当教員	竹内 充香	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

・書き込み式のプリント中心の授業で、国家試験対策も含め、重要ポイントをしっかりと学習し、系統的理解と知識の定着を目指す。

《成績評価の方法と基準》

本試験と小テストの結果、課題の提出

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・プロメテウス解剖学コアアトラス 第4版

《授業外における学習方法》

・授業中にプリントを配りますが、プリント空欄に赤ペンを使って書き込んでください。
・また、要点整理したプリントを復習ししてください。

《履修に当たっての留意点》

事前に配布した授業プリントの空欄に、解答を見ながら、赤ペンで用語を書き込んでおいてください。そして重要ポイントや国家試験ポイントをチェックするための蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備しておいてください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨・関節・筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	総論Ⅰ(人体の基本的構成)		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨・関節・筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	総論Ⅱ(細胞からみた人体、細胞・組織・器官について)		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	骨格系(総論、骨の生理作用、骨の構造と機能・種類)		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	骨格系(骨の発生、骨の連結、頭蓋骨)		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	骨格系(脊柱、胸郭)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	骨格系（上肢骨、下肢骨）		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（関節の構造、関節の分類）		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	基礎医学系の問題について、グループワークで解説作り及び口頭試問を行う。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（胸郭の連結、上肢帯の連結）		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（自由上肢骨の連結、肩関節）		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（肘関節、橈尺関節）		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（手の連結）		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（下肢帯の連結、自由下肢骨の連結）		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（股関節、膝関節）		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	関節と靭帯（脛骨と腓骨の連結、足の連結）		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	解剖学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室
担当教員	竹内 充香	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

・書き込み式のプリント中心の授業で、国家試験対策も含め、重要ポイントをしっかりと学習し、系統的理解と知識の定着を目指す。

《成績評価の方法と基準》

本試験と小テストの結果、課題の提出

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・プロメテウス解剖学コアアトラス 第4版

《授業外における学習方法》

・授業中にプリントを配りますが、プリント空欄に赤ペンを使って書き込んでください。
・また、要点整理したプリントを復習ししてください。

《履修に当たっての留意点》

事前に配布した授業プリントの空欄に、解答を見ながら、赤ペンで用語を書き込んでおいてください。そして重要ポイントや国家試験ポイントをチェックするための蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備しておいてください。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系(筋学総論)		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系(肩の位置を決める筋、肩関節を動かす筋)		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節・筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系(肩関節を動かす筋、肘関節を動かす筋)		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系(手首や指を動かす前腕の筋)		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系(手首や指を動かす前腕の筋、指を動かす手の筋)		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（股関節を動かす筋）		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（股関節を動かす筋、膝関節を動かす筋）		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（膝関節を動かす筋、足首と指を動かす下腿の筋）		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節・筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（指を動かす足の筋）		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（頭部の筋；表情筋群、咀嚼筋群）		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、作業療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（頸部の筋；浅頸筋、側頸筋、舌骨筋群、深頸筋群）		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節・筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（胸部の筋；浅胸筋群、深胸筋群、横隔膜）		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋系（腹部の筋、背部の筋）		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋の生理（筋組織、骨格筋の収縮機構）		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造と機能の関わりについて理解し、理学療法士に必要な基本的知識を習得する。	教科書 授業プリント	【事前学習】授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 【事後学習】学習した内容を要点整理と実践問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	筋の生理（骨格筋収縮の種類と特性、興奮性組織の一般生理）		